

## 日本語指導教員研修会

連携協定を締結している東京都立高校及び足立区において、日本語習得に課題のある外国籍児童・生徒を前にして指導に困難を感じている先生方のニーズに直接応える研修会が開催されました。3回の研修概要と参加者の感想から研修の有用性を強く感じます。

### (1)「外国人生徒のための語彙学習支援」

実施校：東京都立飛鳥高等学校 日時 2020年12月4日

参加者：28人

担当：外国語学部日本語学科 講師 田川真央

感想：今回講義いただいた内容は、日本語指導を行うために欠かせない「語彙を増やす」ことに関するものでした。言語を理解するメカニズムや理解する上での問題点、具体的な語彙の増やし方など、今後それぞれの教科指導を行っていく上で利用できるベーシックな内容が中心でした。昨年同様の内容の濃い充実した研修会となりました。

(東京都立飛鳥高等学校 全日制副校長 池田 厚)



## (2)「日本語指導が必要な児童の課題とその背景」

実施：足立区日本語指導研修会 日時 2020年12月22日

参加者：10人

担当：外国語学部日本語学科 教授 木山三佳

感想：自分のクラスの児童が直面している課題が多くあり、どのように解決したらよいか毎日悩んでいました。その中で自分がやってあげられていたことや、できていないことが明確になりました。また、母語の重要性についても改めて感じました。私のクラスの児童は母語、英語、日本語を話しています。しかし、母語以外はあまりしゃべれません。しかし、家族とのコミュニケーションを考えると母語も大切にしてほしいと思いました。今後は今日学んだことを生かしながら児童の経験や気付きを生かして指導していきます。また、発音ができていないところもあるので、リズムディクテーションを取り入れて少しでも課題を解決してあげたいと思います。

(足立区教育委員会による事後アンケートより)

## (3)「中上級の指導」

実施校：東京都立田柄高等学校 日時：2020年12月23日

参加者：20人

担当：外国語学部日本語学科 教授 木山三佳

感想：本校担当教員からの希望により、「中上級の指導」というテーマで指導していただいたことを感謝申し上げます。私個人としてはゆっくり丁寧に教えることのみを考えていましたが、「様々な日本語能力レベルの中で中上級の生徒にも適した教え方がある」ことを教えていただきました。これぐらいは知っているだろうとか、背景的知識に関する配慮が足りないという生徒の躓きを招いてしまうということも本校での指導の参考になりました。

(東京都立田柄高等学校 副校長 奥脇 次郎)